

戦評

大会名 令和4年第75回青森県高等学校総合体育大会バレーボール競技

日時 令和4年6月4日～6日

会場 青森県武道館ほか

男子決勝（6月6日）

弘前工業高等学校 2 $\left\{ \begin{array}{l} 25-22 \\ 25-15 \end{array} \right\}$ 0 五所川原工業・工科高等学校

ファーストレフリー

新岡 勇士

セカンドレフリー

渡邊 匠哉

2年連続42回目の優勝を目指す弘前工業高校（以下弘工）と2年ぶり9回目五所川原工業・工科高等学校（以下五工）との対戦。

第1セット序盤、弘工は高さのあるブロックと丁寧な守備を軸に、鳴海、澤頭のサイド攻撃、佐藤のサービスエースで一歩リードの展開。対する五工も工藤の速攻、宮本、三橋のサイド攻撃で喰らいついていく。弘工は要所で長内のブロック、鳴海のスパイクを決め中盤で主導権を握る。五工は終盤に藤田、田村のブロックで猛追するが、弘工は25-22で第1セットを先取した。

第2セット、弘工は鳴海、澤頭のサイド攻撃で一気に抜け出し、4-0としたところで五工タイムアウト。タイム後も弘工リードの展開で10点差まで広がる。五工は三橋のサイド攻撃、工藤の速攻で応戦し、中盤からは互いに取り合う展開になる。弘工は要所で、ブロックや時間差攻撃を決める。攻守に安定した弘工が、25-15で2セット連取し、セットカウント2-0で2年連続42回目の優勝を決めた。

戦評者 本間 貴士